

エンジンスターター

VE-E1100ps

アンサーバック Type

取扱説明書

取り付け前のご注意

取り付けできる車両を、お確かめください。

弊社ホームページの車種別専用ハーネス適応表をご覧くださいか、ご相談窓口にお問い合わせください。

車両に登録してある純正スマートキーの登録本数が5本以上ある場合は、本機では使用することができません。

お客様ご自身で取り付けることはできません。

- ・本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としています。
- ・お客様ご自身での取り付けに関するサポートは行っておりません。
- ・お客様ご自身で取り付けられた場合は保証の対象外になります。

使用上のご注意

- ・周囲の安全を確認できる範囲で使用してください。
- ・病院内や航空機内など、使用禁止の場所では使用しないでください。
- ・心臓ペースメーカー等医療機器をご使用の方、持病のある方、妊娠の可能性または妊娠されている方は、医師にご相談ください。
- ・リモコンはおお客様の手の届かない場所に保管してください。
- ・シフトレバーまたは、Pポジションスイッチにて必ずパーキングの位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用してください。
- ・必ずボンネットが閉まった状態で使用してください。
- ・リモコンの改造はしないでください。
- ・リモコンや車両に貼ってあるラベルやステッカーは、はがさないでください。
- ・海外で使用しないでください。
- ・付属品のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。短時間の使用しかできません。
- ・指定のボタン電池以外は使用しないでください。また、新品と使いかけの電池やブランドが異なる電池を同時に使用しないでください。
- ・一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
- ・地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。
- ・本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、当社は一切その責任を負いません。

保証書 (持込修理)

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番 VE-E1100ps	S/No.
お買い上げ年月日 年 月 日	年 月 日
お買い上げの日から 3年 (リモコンは1年。電池などの消耗品は除く。)	
保証期間	様
お客様 お名前 〒	
TEL ()	
販売店 店名・住所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お送りください。
故障内容記入欄	

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本書記載に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、煽害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) リモコン用電池などの付属品(ジャンクションユニット、アンテナユニットを除く)および消耗品の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないよう大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

おすすめピックアップ

車内で「ピーピピッピー
ピピピッ・・・」と鳴っている場合 **P.32**

電池を交換する **P.36**

- 約 1 年を目安に新しい電池と交換してください。

エンジンをかける **P.41**

確認とご注意

安全上のご注意 4

使用上のご注意 8

各部の名称と働き 10

1. 付属品 10
2. 別売品 11
3. 付属品・別売品の購入について 11

各機能について 12

1. 安全機能 12
2. スリープ機能 13

取り付け・接続

梱包内容の確認 14

取り付けの前に（安全上のご注意）... 14

1. エレクトロタップの使いかた 15

基本接続図 16

取り付けと接続 18

1. アンテナユニットの取り付け 18

2. 車種別専用ハーネス（必須別売品）の接続... 21
3. 各検出線（別売品）の接続 22
4. ブレーキ検出 26
5. エンジン始動および停止の確認 27
6. ジャンクションユニットの取り付け ... 29
7. 配線処理について 30
8. 「ご注意ステッカー」の貼り付け 30

車内で『ピーピピッピー
ピッ・・・』と鳴っている場合 ... 32

1. ブレーキ検出の設定手順 32

リモコンについて

リモコンについて 34

1. リモコンの表示について 34
2. リモコンの上手な使い方 34
3. 電池残量表示 36
4. 電池交換 36
5. リモコンが紛失 / 故障したとき 37

エンジンを止める **P.46**

エンジンスターターの設定 **P.50**

- 車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定を設けてあります。

故障かな？と思ったら... **P.52**

- リモコンの LED が表示されない、エンジンが始動または停止できないなど...

基本的な使いかた

エンジン始動～停止までの手順 ... 41

1. エンジンの始動 41
2. エンジンの状態を確認する 43
3. アイドリング時間を延長する 45
4. エンジンの停止 46
5. 車両に乗る 47
6. ドアのロック / アンロック操作 47

カスタマイズして使う

エンジンスターターの設定 50

1. 設定項目一覧 50
2. 各設定項目の説明 51

その他

故障かな？と思ったら 52

始動エラー音について 53

仕様 54

アフターサービスについて 55

保証書 裏表紙

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

● 危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**：「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

⚠ **注意**：「軽傷を負うことや物的損害が発生する恐れがある」内容です。

● 安全上お守りいただきたいこと

⚠ 警告

⚠ **異常・故障・破損時はすぐに使用を中止してください。**

そのまま使用すると、火災や発火、感電の恐れがあります。

<異常な状態の例>

- ・ 内部に異物が入った
- ・ 水に浸かった
- ・ 煙が出ている
- ・ 変な臭いがする

すぐに使用を中止し、電源コードを外して、お買い上げの販売店またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。
● P.57「アフターサービスについて」

⊘ **サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しないでください。**

感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



⊘ **本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高圧容器に入れたり、加熱したりしないでください。**

破裂、発火や火傷の原因となります。

絵表示について

ⓘ 必ず実行していただく「強制」内容です。

⊘ してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

➡ 関連するページを示します。

ⓘ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。**

ⓘ **持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用される前に医師にご相談ください。**

ⓘ **心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、それらの機器の約22cm以内の範囲に本製品のリモコンを近づけないようにしてください。**

⊘ **本機を次のような場所に保管しないでください。**

変色や変形、故障の原因となります。

- ・ 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・ 湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

⊘ **病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。**

電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⊘ **本機の各ハーネスから他の電装品やACC電源を取らないでください。**

車両のヒューズが切れたり、故障の原因となります。

⊘ **穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。**

感電や故障の原因となります。

⊘ **エアバッグシステムの配線およびコネクタには触れないでください。また、エアバッグの動作の支障となる場所に取り付けたり、配線しないでください。**

エアバッグが正常に作動しなかったり、事故やケガの原因となります。

⚠ 注意

⊘ **各端子に異物が入らないように、取り扱いにご注意ください。**

故障の原因となります。

⊘ **濡れた手で操作しないでください。**

感電の原因となります。



⊘ **落としたり、強いショックを与えないでください。**

破損、故障の原因となります。

⊘ **結露したまま使い続けないでください。**

故障や発熱などの原因となります。(気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。)

⚠ **本機は精密機械です。**

静電気 / 電気のノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

● 本機の操作について

⚠ 警告

ⓘ **シフトレバーまたは、Pポジションスイッチにて必ずパーキング (P) の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用してください。**

思わぬ事故の原因になり大変危険です。

ⓘ **リモコンはお子様の手の届かない場所に保管してください。**

お子様が勝手にエンジンを始動させ、事故の原因となります。

ⓘ **必ずボンネットが閉まっている状態で使用してください。**

エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。

ⓘ **あらかじめ駐車時には以下のことを守ってください。**

- ・ ワイパー、ラジオ (オートアンテナ車の場合) を OFF にしてください。エンジン始動を行ったときに動き出すので危険です。また凍結した場合、モーターの損傷や車種別専用ハーネスのヒューズ切れを起こす恐れがあります。
- ・ すべての窓を閉めてください。
- ・ すべてのドアを施錠 (ロック状態) してください。
- ・ 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときには、必ず輪止めをしてください。

❗ 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、必ずリモコンの電池を抜いてください。

- ・ボンネットを開けるとき
- ・整備や車検などで車両を第三者に預けるとき
- ・本機の使用方を理解されていない方が運転するとき
- ・長期間車両を使用しないとき

❗ 車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。

❌ 車両のボディカバーをかけたまま使用しないでください。

発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。

❌ 換気の悪い車庫や屋内では、使用しないでください。

排気ガスによる中毒の恐れがあります。

❌ マフラーが雪で覆われるような降雪時に使用しないでください。

排気ガスが車内に充満して大変危険です。

❌ 暖機運転の直後にエンジン点検などを行わないでください。

火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。

❌ 車両の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しないでください。

発火の恐れがあります。

● ボタン電池について

⚠ 警告

❌ リモコンのボタン電池は、お子様の手の届く場所に保管しないでください。

誤飲の恐れがあります。

❗ 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動してください。本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。

エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルモーターの再飛び込みなど車両を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車両の安全装置が動かないまま動き出すなどの事態をまねく危険性があります。

❌ むやみに操作ボタンを押さないでください。

リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります。

❌ 本機でエンジンを始動した際は、シフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしないでください。

エンジンスターターの安全機能が動かず、思わぬ事故につながる場合があります。

❌ お子様やペットなどを車両に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。

室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。

⚠ 車両純正装備のストップランプが白熱球の場合、LEDストップランプへ交換すると、フットブレーキ検出機能が使用できないことがあります。

⚠ 注意

❗ 付属品のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。

短時間の使用しかできませんので、お早めに新品の電池と交換してください。

❗ ボタン電池を充電したり、分解しないでください。

破損や発火、故障の原因となります。

❌ ボタン電池の極性（+、-）を正しく入れてください。

❌ 指定以外のボタン電池は使用しないでください。また、新品と使いかけボタン電池を同時に使用したり、ブランドが異なるボタン電池を同時に使用しないでください。

❌ 長時間ご使用にならない場合は、ボタン電池を外して保管してください。

ボタン電池が液漏れを起こし、本機を故障させることがあります。また、衣類などを汚す原因となります。液漏れしたときには、本機についた液をよく拭き取ってから、新しいボタン電池と交換してください。

❌ 使用済みのボタン電池を火中に投げ入れないでください。

爆発して火災や火傷の原因となります。

❌ ボタン電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れないでください。

感電、ショートの原因となります。

● お手入れについて

⚠ 注意

❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。

内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

❌ ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。

塗装面を傷めます。



- ・一般公道での使用、締め切った場所での使用はおやめください。
- ・地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰則を受ける場合がありますので、ご注意ください。
- ・本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、当社は一切その責任を負いません。

使用上のご注意

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機を使用中、車両の盗難・車上あらし・イタズラ等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによる車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 電波法に関する注意

- ・リモコンやジャンクションユニットの技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- ・海外では使用しないでください。
- ・分解したり改造したりすることは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

■ 本機の機能に関する注意

- ・オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車[※]の一部では、本機のコンライトキャンセル機能が使用できない場合があります。その場合、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動した場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあと消灯しません。
[※] 暗くなると、自動的にライトが点灯するシステムです。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。

- ・他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、通信範囲が狭くなることがあります。
- ・オプション対応のドアロック（施錠）／アンロック（解錠）機能は、ラジオの送信所やテレビ塔、NTTのアンテナタワーなどの強電界となる付近では、通信範囲が狭くなったり、ドアロック・アンロックができない場合があります。また、電池が完全に消耗してしまうとリモコン操作ができなくなりますので、車両のキーは必ず携帯してください。キーでエンジンをかけているときは、リモコンからの操作は無効となります。また、本機は特定小電力無線を使用しているため、純正キーレスに比べてリモコン操作からロック／アンロックまでに時間がかかると感じる場合があります。
[※] 車両から離れるときは、ドアのロックを確認してください。

■ 保証に関する注意

- ・本製品にはお買い上げ日から3年間の保証がついています。（ただし、リモコンは1年間、リモコン用電池などの付属品や消耗品は保証の対象となりません。）

■ ご使用にあたっての注意

- ・車両から降りる際にワイパーなどの電源をOFFにしてください。ワイパーの凍結などで過大な負荷がかかると、車種別専用ハーネスのヒューズが切れたり、車両を故障させることがあります。
- ・リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- ・リモコンは簡易防滴構造ですが、水につけたり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- ・リモコンは、お客様の手の届かない場所に保管してください。
- ・リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
 - 非常に温度の低い場所。
- ・リモコンから通信を行うのと同時にジャンクションユニットからも通信が行われた場合、正常に通信できないことがあります。

- ・リモコン操作時、周囲に同じ周波数帯の電波が存在する場合、正常に通信できない場合があります。
- ・リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。
- ・ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、アイドリング中にドアのロック／アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
- ・オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ・助手席にチャイルドシートを装着しているなどシートベルトが差し込まれた状態では、アイドリング中に本機のリモコンでドアのロック／アンロックができないことがあります。
- ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかねます。

各部の名称と働き

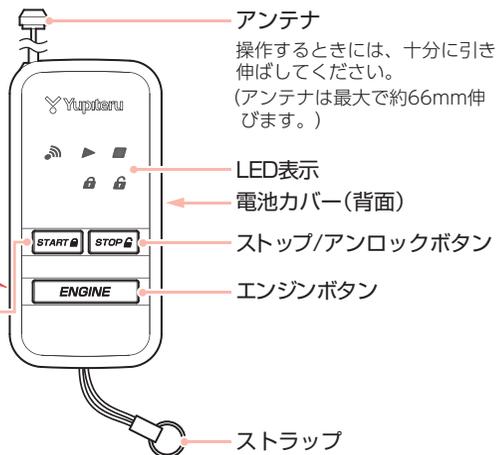
■ リモコン

技術基準適合証明ラベル
技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。
はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。

機種名 VE-E1100ps
S/No. XXXXXXXX

001-UXXXXX
型式 DE059BR
(株)ユピテル

<リモコン背面> <電池ケース内>



スタート/ロックボタン

1. 付属品

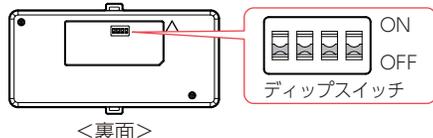
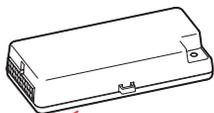
ご使用(取り付け)前に付属品をお確かめください。

- リモコン用電池 CR2032 2個
※リモコンに装着済
- 取扱説明書 / 保証書(本書) 1部



以下の部品は、車両に取り付けられています。

- ジャンクションユニット 1個



※ジャンクションユニット裏面にあるディップスイッチには触れずにOFFのまま、ご使用ください。
ONにした場合、正常に動作できないことがあります。



- アンテナユニット 1個



コード：約3m

- 両面テープ 1個 (アンテナユニット用)
- ブラケット 1個 (アンテナユニット用)
- 保護シート 1枚
- エレクトロタップ 2個
- タイラップ 1個
- ご注意ステッカーシート 1枚

2. 別売品

別売品との併用で、本機の機能がさらにアップします。

- ※ 必須別売品は必ずご購入ください。
- ※ 別売品については、予告なく仕様を変更したり、販売を終了する場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 車種別専用ハーネス(必須別売品)

車種によりコネクタの形状が違うため、専用ハーネスを用意しています。

■ キーレスエントリー A-17SF

離れた場所から、本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

- ※ 適応車種限定…詳しくは、車種別専用ハーネス適応表を参照ください。
- ※ 他の別売品のアダプターやドアロックハーネスが必要となる場合があります。

■ ハザード制御 A-18SF

本機でのエンジン始動時、ハザードランプを3回点滅させてエンジンがかかったことをお知らせします。また、本機でのドアロック/アンロック時に、ハザードランプを点滅(1回/2回)させることができます。

■ コンライトキャンセル A-60

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、車両のバッテリー上がりを防ぐことができます。

- ※ 一部の車両では、コンライトキャンセル機能が正常に機能しない場合があります。

■ ドア検出線 A-60

本機が動作中にドアを開けると、エンジンを停止させることができます。

■ オルタネータ線 A-60

エンジンの始動確認ができず、再始動を繰り返すことが多い場合に、エンジン始動判定をより確実に行うことができます。

3. 付属品・別売品の購入について

- ・ 付属品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX(機種名)用 ○○(必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・ 弊社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

各機能について

1. 安全機能

本機には、次の安全機能があります。

■ ブレーキ検出

ブレーキが踏まれた状態では、本機によるエンジンの始動や動作はしません。また、リモコンによるエンジン始動後、ブレーキペダルを踏むとエンジンが停止します。

■ コンライトキャンセル機能(☛ P.11)

(別売品：A-60 を使用して、車両に取り付けてください。)

■ ドア検出(☛ P.11)

(別売品：A-60 を使用して、車両に取り付けてください。)

■ 誤動作防止 ID コード

1 億通りの中から商品ごとに個別 ID コードを設定。他の電波による誤動作を防止します。

■ エンジン自動停止機能

本機でエンジン始動後、設定した時間を経過するとエンジンが自動停止します。

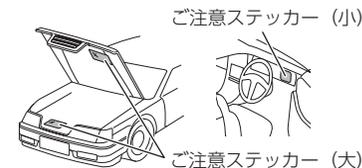
■ ダブルアクション操作

2つのボタンの組み合わせによるツータッチ操作だから、ポケットやバックの中での誤操作を防ぎます。

警告

❗ 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車両を預けるときは、リモコンの電池を抜いてください。

❗ 本機の取り付け後、安全のため、付属品のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー (大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー (小)」はボンネットオープナーやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



2. スリープ機能

車両を使用しない状態が 14 日間以上続くと、車両のバッテリーの消費を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、一度、車両本来の操作 (エンジンスイッチ操作など) でエンジンを始動させてください。



※ 本機を長期間使用しないときは、リモコンの電池を抜いておきます。

■ 車両のバッテリーとエンジンスターター始動の関係

車両のバッテリーの性能が低下しているときは、エンジンスイッチで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

このようなときは車両のバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

※ 車両のバッテリー交換を行った場合は、再度ブレーキ検出(☛ P.32)が必要です。

梱包内容の確認

取り付け前に梱包内容をお確かめください。(P.10)

取り付けの前に(安全上のご注意)

警告

安全のため、取り付けはお買い求めいただいた販売店様やカーディーラー様にご依頼ください。

- ・本機は、販売店様やカーディーラー様での取り付けを対象としております。
- ・お客様ご自身での取付作業に対するサポートは行っておりません。
- ・お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

警告

取り付けできる車両を、お確かめください。

本機は、プッシュスタートシステム車専用のエンジンスターターです。

- ・詳しくは、車種別専用ハーネス適応表をご確認ください。
- ・適応車種がわからない場合は、ご相談窓口にお問い合わせください。

警告

！ 取り付け作業は、必ずエンジンがさめている状態のときに行ってください。火傷する恐れがあります。

！ ジャンクションユニットの取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に付けてください。

！ ジャンクションユニットは、取り付け・接続後、しっかりと固定してください。運転中に落下すると大変危険です。

⊘ マニュアル (MT) 車、外国車には、取り付けできません。

⊘ エアバッグシステムの配線およびコネクタには触れないでください。また、エアバッグの動作の支障となる場所に取り付けたり、配線しないでください。

エアバッグが正常に作動しなかったり、事故やケガの原因となります。

⊘ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や火災の原因となります。

警告

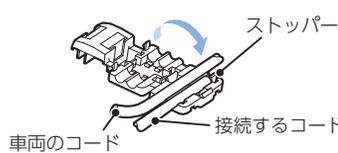
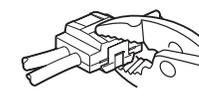
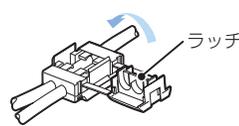
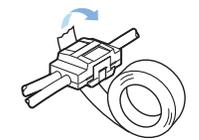
！ 本機は車両信号線に接続し動作します。誤った接続や不完全な取り付けは大変危険です。弊社ではお客様の安全確保の観点から、取り付けに関するご質問、お問い合わせ、情報提示は弊社指定の取り付け販売店様のみに限らせていただきます。お客様自身での取り付けに関しましては、一切お答えできません。あらかじめご了承ください。本機を取り付けたことによる、車両の故障や盗難については、当社は一切その責任を負いません。

注意

- ・市販品のターボタイマーと併用することはできません。
- ・オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・ドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
- ・ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、本機によるアイドリング中にドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、純正スマートキーに内蔵されているメカニカルキーで操作してください。

1. エレクトロタップの使いかた

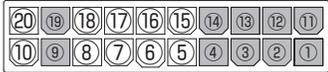
各検出線は、以下の手順で接続してください。

<p>① 各検出線を図のストッパーに突きあて、車両のコードを通して矢印のように折り返す</p>  <p>ストッパー 接続するコード 車両のコード</p>	<p>③ プライヤーなどで、ラッチが噛むまで締め付ける</p> 
<p>② もう一度、矢印のように折り返す</p>  <p>ラッチ</p>	<p>④ 絶縁テープを巻く</p> 

※ 接続された箇所(エレクトロタップ部)は、ショートや振動などにより、車両のスターター系にトラブルを起こす原因となることがあります。必ず絶縁テープでテーピングしてください。

基本接続図

コネクタ1の接続ポイント



※グレーの部分は、使用する車種別専用ハーネスにより異なります。

①	黒	車両との信号線になります。
②	青	※加工や改造は絶対に行わないでください。
③	薄緑	※加工や改造は絶対に行わないでください。
④	青/白	未使用
⑤	空き	未使用
⑥	空き	未使用
⑦	空き	未使用
⑧	空き	別売品 ドア検出 (A-60) を接続
⑨	黄/黒	ドアアンロック線
⑩	空き	別売品 コンライト出力線 (A-60) を接続

⑪	赤	車両との信号線になります。
⑫	黄	※加工や改造は絶対に行わないでください。
⑬	緑	※加工や改造は絶対に行わないでください。
⑭	緑	未使用
⑮	空き	未使用
⑯	空き	未使用
⑰	空き	別売品 オルタネータ (A-60) を接続
⑱	空き	別売品 弊社製品と併用する場合に接続
⑲	青/黒	ドアロック線
⑳	空き	別売品 ハザード制御 (A-18SF) の緑線を接続

コネクタ1

ジャンクションユニット

コネクタ2

アンテナユニット

別売品 キーレスエントリー (A-17SF)

ドアロック線 (青線)

車両のドア制御信号線に接続 (ロック側)

ドアアンロック線 (黄線)

車両のドア制御信号線に接続 (アンロック側)

別売品 ハザード制御 (A-18SF) 緑線

別売品 コンライト出力線 (A-60)

車両のコンライト信号線に接続

別売品 ドア検出線 (A-60)

車両のドア信号線に接続

別売品 弊社製品 (オートキーレスシステムなど)

弊社製品と併用する場合に接続

別売品 オルタネータ線 (A-60)

注意 弊社車種別専用ハーネス適応表で条件としている車種や、エンジン始動確認ができずエンジン始動後に再始動を繰り返してしまう場合は、車両のオルタネータ (L端子) ケーブルに接続してください。

キーレスエントリー接続コネクタ

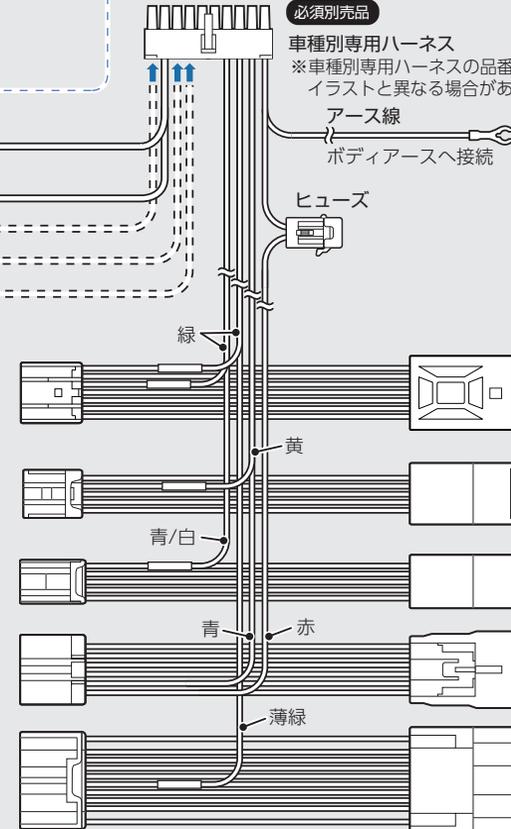
必須別売品

車種別専用ハーネス
※車種別専用ハーネスの品番によってはイラストと異なる場合があります。

アース線

ボディアースへ接続

ヒューズ



取り付け・接続

取り付けと接続

以下に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

ご注意..... 記載の内容は、標準的な車両での取り付け手順です。ご使用の車種や別売品によっては、記載の手順と異なる場合があります。弊社車種別専用ハーネス適応表にて品番や指定条件をご確認ください

ナビゲーションシステムやラジオ、オーディオなどを搭載した車両では、車両のバッテリーのマイナス端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。

警告

! 安全に作業をしていただくため、取り付ける前に次の3つのことを必ず守ってください。

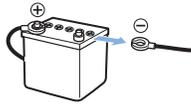
■ シフトレバーまたはPポジションスイッチをパーキング (P) ポジションにする



■ パーキングブレーキを確実にかける



■ ショート事故やエアバッグの誤動作防止のため、車両のバッテリーのマイナス端子を外す



取り付け場所について

以下のような場所に絶対に取り付けないでください。

- ・水がかかったり、熱風が当たる場所
- ・他の機器のアンテナの近くや金属など障害物の影
- ・視野の妨げになったり、運転操作に支障をきたす場所
- ・エアバッグの近く

1. アンテナユニットの取り付け

アンテナユニットは、ダッシュボード、フロントガラスと天井のすき間に両面テープで取り付けます。

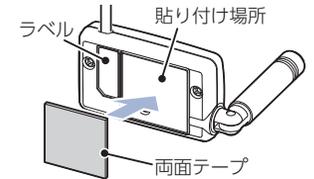
あらかじめ貼り付ける場所のチリや汚れ、脂分をよく落とししたあと、慎重に作業してください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。

注意

- ・取り付けにより、車両・内装部品やダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、車両への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。
- ・防水構造ではないため、ルーフなどの車外に設置しないでください。

付属品の両面テープの保護シートを片面だけのはがし、アンテナユニットの底面にしっかり貼り付けます。

※ 両面テープは、ラベルに重ならないように貼り付けてください。



通信距離を広げたい場合は、アンテナを地面に対してできるだけ垂直に立ててください。(アンテナが車体に触れないようにしてください。)

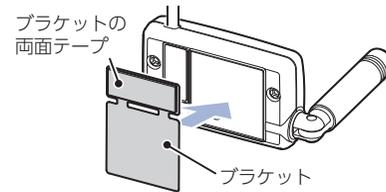
フロントガラスと天井のすき間に取り付けの場合

注意

- ・記載以外の取り付け方法は、保安基準に適合しない場合があります。フロントガラスと天井のすき間に取り付けの場合は、記載の取り付けを確実に行ってください。
- ・運転や視界の妨げにならない場所に貼り付けてください。

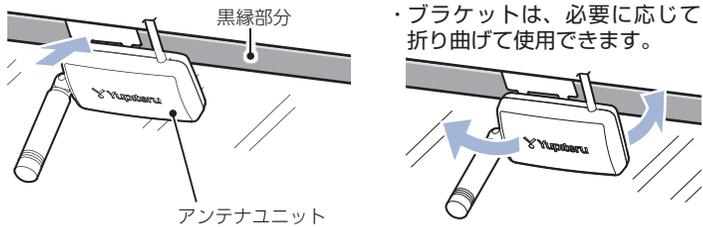
1-1 アンテナユニットをジャンクションユニットのコネクター 2 に接続する

1-2 アンテナユニットにブラケットを取り付ける



両面テープの残りの保護シートをはがします。ブラケットの両面テープがフロントガラス側になるように、ブラケットを取り付けます。

1-3 ブラケットをフロントガラスと天井のすき間に取り付ける



・ブラケットは、必要に応じて折曲げて使用できます。

ブラケットの両面テープの保護シートをはがします。
ブラケットをフロントガラスと天井のすき間に差し込み、貼り付けます。

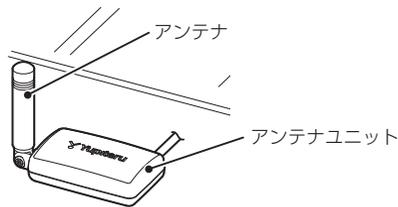
※ アンテナユニットは、車両のAピラーから10cm以上離して貼り付けてください。
通信距離が短くなったり、通信が不安定になることがあります。

ガラス面（透明部分）には貼り付けしないでください。保安基準に適合しなくなり処罰の対象となります。

■ ダッシュボードに取り付ける場合

1-1 アンテナユニットをジャンクションユニットのコネクター2に接続する

1-2 アンテナユニットをダッシュボード上の適当な場所に取り付ける



両面テープの残りの保護シートをはがし、ダッシュボードにしっかりと固定します。

- ※ アンテナの近くに金属（ピラー）などがあると、通信距離が短くなります。車両の金属部分から5cm以上離して取り付けてください。
- ※ 直射日光の当たる場所では、本体内部が高温となるため安定した通信が行われなくなることがあります。
- ※ ダッシュボード取り付け時は、フロントガラスと天井のすき間に取付けた時より通信距離は短くなります。

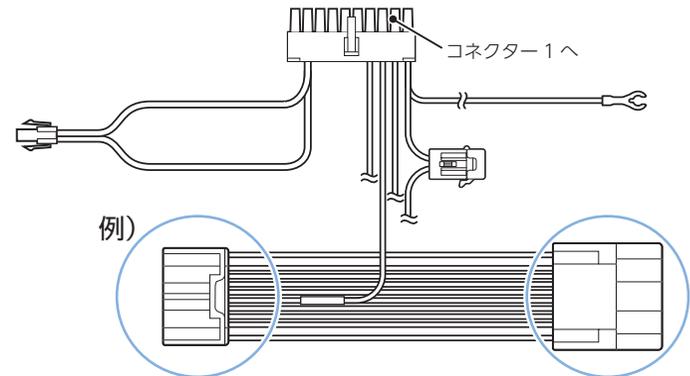
2. 車種別専用ハーネス（必須別売品）の接続

本機はマニュアル・トランスミッション（MT）車や輸入車など、適応車種以外の車両には取り付けできません。誤って取り付けると、大変危険です。また、取り付けは専門知識のある販売店様またはカーディーラー様にご依頼ください。

⚠ 注意

- ・ 走行中の振動などでコネクターが抜けまいよう、しっかりと接続してください。
- ・ 配線類は、噛み込みや被覆の摩擦によるショートを防ぐため、ステアリングシャフトやチルト機構、シフトレバー等の可動部を避け処理を行ってください。
- ・ アース線は、オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じビスなどに取り付けしないでください。機器が誤作動したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。
- ・ 車体金属部やネジ、エッジ部分に接触する可能性がある配線は、付属品の保護シートで配線の保護を行ってください。

2-1 車種別専用ハーネス（必須別売品）を接続するコネクターを探す



※ 形状は、車種別専用ハーネス（必須別売品）の車両側のコネクター（○印部）を参考にしてください。

2-2 車両側のコネクタを外し、外したコネクタ間を車種別専用ハーネス(必須別売品)で接続する

2-3 車種別専用ハーネス(必須別売品)から出ているアース線を、車両の塗装されていない既存のビスなどにしっかりと共締めする

別売品を取り付ける場合は、
「3. 各検出線(別売品)の接続」へ進んでください。
別売品を取り付けない場合は、
「4. ブレーキ検出」へ進んでください。

3. 各検出線(別売品)の接続

車両側配線に接続する場合は、必ずテスターを使用してください。

■ ドアロック / アンロック線の接続：キーレスエントリー(A-17SF)

車種別専用ハーネス(必須別売品)のキーレスエントリー接続コネクタにキーレスエントリー:A-17SF(別売品)を接続します。ただし、車種ごとにコントロールが異なるため、別売品の接続が必要となる場合があります。詳しくは弊社エンジンスターター車種別専用ハーネス適応表でご確認ください。

■ オルタネータ線の接続(A-60)

- ・車種別専用ハーネス適応表でオルタネータ線の接続が指定されている車種の場合は、必ずオルタネータ線を接続してください。
- ・車種や電装品によっては、エンジンの始動確認ができず、再始動を繰り返すことがあります。このような場合は、オルタネータ線を接続することで、より確実な始動判定を行うことができます。

オルタネータ線の接続

接続先は車種により異なります。販売店様向けの接続情報をご確認ください。

- ※ 多くの車種は、エンジンスイッチが ON 時(エンジン始動前)に 0 ~ 2V、エンジン始動後に約 6V 以上となる車両配線(L 端子)が接続先になります。
- ※ 接続後には、接続部を必ず絶縁テープでテーピングしてください。

■ コンライト出力線の接続：コンライト出力線(A-60)

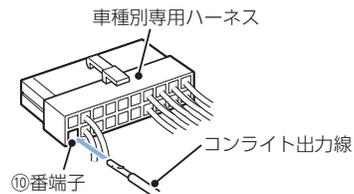
- ・コンライト出力線を接続する前に
ライトスイッチを AUTO にし、エンジンを始動してください。
次に車両を暗い場所または照度検出センサに光が入らないようにしてください。
その後エンジンを切り、ドアを開けたときにライトが消灯しますか? 消灯しない車両は、コンライト制御はできません。
- ※ エンジンを切ると同時にライトが消灯する場合は、コンライト出力線(別売品)を接続する必要はありません。

3-1 コンライト出力線の接続先を探す

- ・コンライト出力線の接続先
ほとんどの場合、ドアスイッチの配線に接続します。
一部車種ではドアスイッチの配線が 3 ~ 4 本の車種もあり、判断しにくい場合があります。このようなときには、コンライト使用状態にし、各線をアースにおとして、コンライトが消灯した線に接続してください。

3-2 エレクトロタップを使って、コンライト出力線を接続する (P.15)

3-3 コンライト出力線を車種別専用ハーネス(必須別売品)の ⑩番端子にしっかりと差し込む



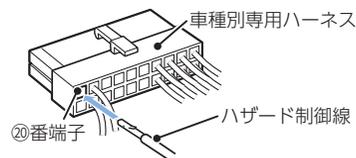
3-4 端子の接続が完了したら、「4. ブレーキ検出」へ進む

■ ハザード制御の接続：ハザード制御(A-18SF)

本機のリモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出後にハザードランプを3回点滅させてお知らせします。また、本機によるエンジン始動中でも、リモコン操作によりアイドリング状態(3回点滅)の確認ができます。

※ ハザードランプの制御はエンジンスターターが行いますので、緑線(4mと5m)は直接左右のハザードランプに接続してください。

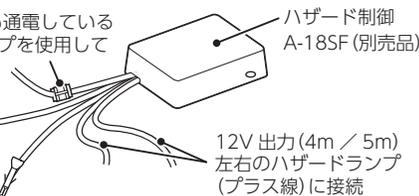
3-1 ハザード制御：A-18SF(別売品)のハザード制御線(ピン端子付緑線)を、車種別専用ハーネス(必須別売品)の⑳番端子にしっかりと差し込む



3-2 ハザード制御：A-18SF(別売品)の+電源、アース線、ハザードランプ線を接続する

エンジンスイッチがOFF状態でも通電している(常時+12V)線にエレクトロタップを使用して接続(赤)

車両の塗装されていない既存のビスなどに接続(黒)



・ピン端子のない緑線は、それぞれ左右のハザードランプに接続します。

緑線(2本：4mと5m)は長さが異なります。2本の長さを比べ、短い方(4m)をメインユニットに近いランプに接続してください。また、車両によっては左右、前後が別系統の配線になっていることがあります。このような場合は、緑線を分岐して各ランプに接続してください。



※ エレクトロタップの接続は、P.15を参照ください。

※ ハザードランプの制御はエンジンスターターが行いますので、緑線(4mと5m)は直接左右のハザードランプに接続してください。

3-3 端子の接続が完了したら、「4. ブレーキ検出」へ進む

■ ドア検出線の接続：ドア検出線(A-60)

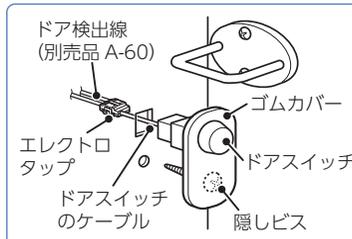
車両のドアスイッチケーブルなどに接続することにより、ドアを開けたときにアイドリングを停止させることができます。

3-1 ドア検出線の接続先を探す

※ 接続先はサーキットテスターで確認してください。
(ドア開時...0V、ドア閉時...12V)

3-2 エレクトロタップを使って、ドアスイッチケーブルなどにドア検出線を接続する

ドア部詳細

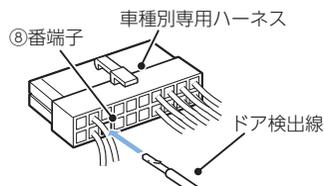


※ エレクトロタップの接続は、P.15を参照ください。

※ 一部の車種では、ドア内にスイッチが入っています。このような場合は、ルームランプなどのドアに連動して信号が発生するケーブルに取り付けてください。

※ ルームランプなどの信号線にドア検出線を接続する場合は、ドアが開いた状態で必ずルームランプが点灯するように、ルームランプスイッチを設定してください。

3-3 ドア検出線を、車種別専用ハーネス(必須別売品)の⑧番端子にしっかりと差し込む



3-4 端子の接続が完了したら、「4. ブレーキ検出」へ進む

4. ブレーキ検出

本機は、ブレーキ検出をしないと動作しません。

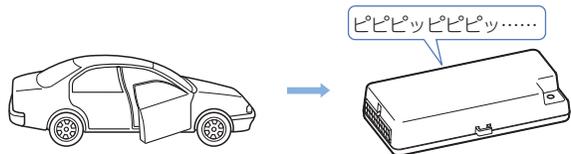
接続が正しく行われていることを確認し、車両のバッテリーのマイナス端子を繋いでください。

4-1 車種別専用ハーネス(必須別売品)をジャンクションユニットのコネクター 1 に接続する

ジャンクションユニットから『ピーピピピッ ピーピピピッ ピーピピピッ・・・』という確認音が鳴り続けます。

4-2 車両の純正スマートキーを車外に持ち運び、ドアを閉めたのを確認してからドアを開ける

純正スマートキーを、車両から約 1 ～ 2m 程度離してください。



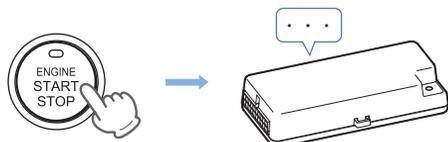
ジャンクションユニットの確認音が「ピピピピピピピッピピッ・・・」に変わります。

4-3 車両の純正スマートキーを車内に持ち込み、シフトレバーまたは、Pポジションスイッチがパーキング(P)ポジションになっていることを確認する



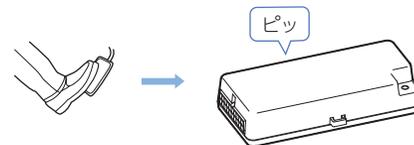
4-4 ブレーキペダルから足を離したままエンジンキー(エンジンスイッチ)を OFF → ACC → ON と切り替える

ジャンクションユニットの確認音は止まります。



4-5 ブレーキペダルを踏み込む

ジャンクションユニットから『ピッ』音が鳴ります。



4-6 ブレーキペダルから足を離す

ジャンクションユニットから「ピロロロ」音が鳴ります。

以上でブレーキ検出は終了です。

5. エンジン始動および停止の確認

エンジンの始動および停止の確認を行います。(▶ P.34「リモコンについて」)

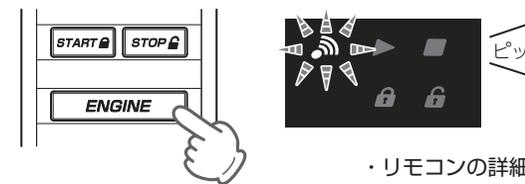
■ エンジンを開始させる

リモコンでエンジンが始動できるか確認します。

※ 純正スマートキーをキーレスの電波が届かない位置まで離れてから操作してください。

5-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで エンジンボタンを押す

📶(白)が点滅します。



・リモコンの詳細は…

▶ P.34「リモコンについて」

※ エンジン始動操作中は、必ず純正スマートキーをリモコンの 4cm 以内に携帯して操作してください。

5-2 無線(白)が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでスタートボタンを押す

▶(青)と無線(白)が点灯し、信号を送信します。



エンジンが始動します。

アイドリング中はジャンクションユニットから断続音が鳴り続けます。(本機でエンジンを始動させたことを知らせます)

※ 始動後、設定されている時間が経過すると自動的にエンジンは停止します。
 ◀ P.51 「アイドリング時間の設定」

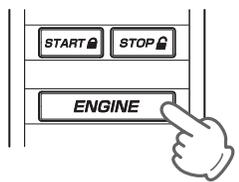
- ・ エンジンが始動しているにもかかわらず、エンジンの始動確認ができない場合や、エンジンが始動してもしばらくすると停止する場合
 始動判定方法選択を「特殊判定」に変更してください。(◀ P.51 「始動判定方法選択」)
- ・ 始動判定方法選択を「特殊判定」に変更し、エンジンが始動してもしばらくすると停止する場合
 オルタネータ線(A-60)の接続が必要です。(◀ P.22 「オルタネータ線の接続(A-60)」)
- ・ エンジンが始動しない場合
 取り付け状態やエンジンスターターの設定を再度ご確認ください。

■ エンジンを停止させる

リモコンでエンジンの始動が確認できたら、リモコンでエンジンを停止させます。

5-3 操作確認音『ピッ』が鳴るまで エンジンボタンを押す

無線(白)が点滅します。



・ リモコンの詳細は…
 ◀ P.34 「リモコンについて」

5-4 無線(白)が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでストップボタンを押す

■(赤)と無線(白)が点灯し、信号を送信します。



以上でエンジンの始動および停止の確認は終了です。

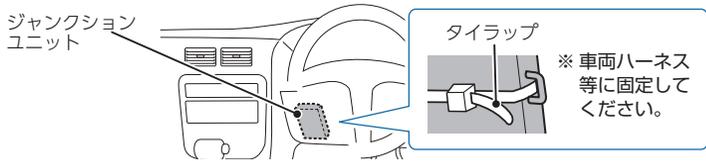
6. ジャンクションユニットの取り付け

⚠ 注意

ジャンクションユニットは、タイラップや両面テープなどを使用して、運転の妨げとならないように、センターコンソールまたはインパネのアンダーカバーの内側など、できるだけ高い位置にしっかりと固定し、タイラップなどを使用して配線処理をしてください。その他の場所に設置する場合は、次のような場所は避けてください。

- ・ エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所。
- ・ 直射日光の当たる場所。
- ・ 不安定な場所。

6-1 市販品の両面テープを使って仮取り付けした後、固定する



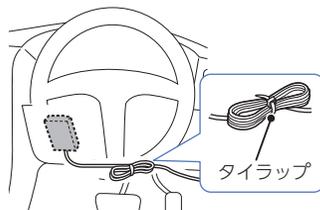
※ 走行中の振動で容易に外れないように付属品のタイラップで、ジャンクションユニットを固定してください。

7. 配線処理について

すべての取り付けが終わったら、以下の要領で配線処理をしてください。
配線処理は、ケーブル類の長さ、配線場所などを十分考慮して決めてください。

■ タイラップによる配線処理

ダッシュボード内を通るケーブル類は、既存のハーネスなどに市販品のタイラップを用いて共締めします。余分なケーブルは束ねて共締めしてください。



■ ドアのすき間から車内に線を引き込んだ場合

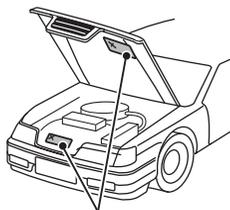
ドアの開閉時に線を噛まないように少したるみをもたせて配線処理をしてください。

8. 「ご注意ステッカー」の貼り付け

本機を取り付けた車両を、第三者が使用した場合にも安全にお使いいただくため、付属品のステッカーを必ず貼り付けてください。

■ ご注意ステッカー(大)の貼り付け

ボンネットの裏側で、エンジンの熱を直接受けない場所に目立つように貼り付けます。(ワンボックスカーの場合はエンジンルームの開閉カバー)



ご注意ステッカー (大)

■ ご注意ステッカー(小)の貼り付け

ボンネットオープナーなどに目立つように貼り付けます。(ワンボックスカーの場合はエンジンルームのオープナー)



ご注意ステッカー (小)

必要に応じてアイドリング時間等を設定します。

(● P.50 「エンジンスターターの設定」)

設定後、エンジンの始動、ドアロック動作を確認します。

ユピテルご相談窓口

製品の取り付け、取り扱いなどでご不明な点がございましたら、
お客様ご相談センター

0564-45-6515

までお問い合わせください。

※お客様ご自身での取り付け作業に対するサポートは行っておりません。

受付時間 9:00~17:00

月曜日~金曜日 (祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

⚠ 警告

- ! エアバッグ上やエアバッグの妨げとなる場所に取り付けたり、配線しないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。
- ! 運転や視界の妨げにならない場所、または自動車の機能(ブレーキ、ハンドルなど)の妨げにならない場所に取り付け・配線をしてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

- ! 取り付けは確実に行ってください。落ちたりしてケガの原因となります。
- ! 地域により車両の停車中にみだりにエンジンを始動させた場合、条例等により罰を受ける場合がありますので、ご注意ください。

お願い

車両の引き渡し時には、お客様に接続・設定の状況と操作の説明、特に安全機能の説明を十分に行ったうえで、本書をお渡しください。

車内で『ピーピピッ ピーピピッ・・・』と鳴っている場合

車両のバッテリー上がりや交換、車種別専用ハーネス（必須別売品）の取り外し等で常時電源が断たれた場合は、ジャンクションユニットから『ピーピピッ ピーピピッ・・・』が鳴り、ブレーキ検出がリセットされたことを知らせます。

※ ブレーキ検出がリセットされると、リモコン操作がエラーとなり、本機によるエンジン始動ができません。

※ 本機への常時電源が断たれた場合でも、本機に登録された設定内容は消去されません。

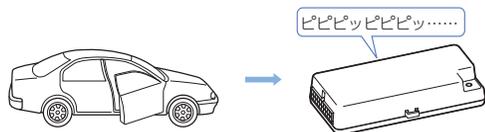
下記の手順でブレーキの検出・設定を行ってください。

1. ブレーキ検出の設定手順

『ピーピピッ ピーピピッ ピーピピッ・・・』音が鳴っている状態で、以下の手順で設定を行ってください。

※ 何も音が鳴っていない場合は、車種別専用ハーネス（必須別売品）の取り付け状態やアース線の接続場所を再度確認してください。

- 1-1 車両の純正スマートキーを車外に持ち運び、ドアを閉めたのを確認してからドアを開ける



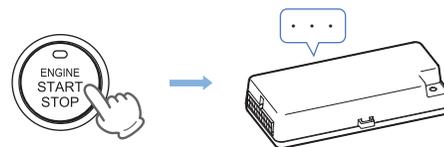
純正スマートキーを、車両から約 1 ～ 2m 程度離してください。ジャンクションユニットの確認音が「ピーピピッピーピッピーピッ・・・」に変わります。

- 1-2 車両の純正スマートキーを車内に持ち込み、シフトレバーまたは P ポジションスイッチがパーキング (P) ポジションになっていることを確認する



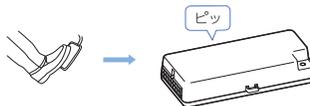
- 1-3 ブレーキペダルから足を離したままエンジンキー（エンジンスイッチ）を OFF → ACC → ON と切り替える

ジャンクションユニットの確認音は止まります。



- 1-4 ブレーキペダルを踏み込む

ジャンクションユニットから『ピッ』音が鳴ります。



- 1-5 ブレーキペダルから足を離す

ジャンクションユニットから「ピロロロ」音が鳴ります。

■ 以上で設定完了です。

エンジンスイッチを OFF にし『ピーピピッ ピーピピッ ピーピピッ・・・』音が鳴らないことを確認してください。

『ピーピピッ ピーピピッ ピーピピッ・・・』音が鳴りやまない場合、ブレーキ検出ができていません。その場合は、接続先をご確認のうえ手順 1-1 から設定をやり直してください。

リモコンについて

1. リモコンの表示について

リモコンのエンジン・スタート・ストップボタンのいずれかを押し、LEDが約3秒間点滅します。

また、電波を受信した場合は、動作に応じたLEDが約3秒間点灯（点滅）してお知らせします。

LEDは点灯（点滅）後、バッテリーセーブのため消灯します。

「点灯」・「点滅」の表示について

本書では「点灯」・「点滅」を次のように表示しています。



点灯の表示例



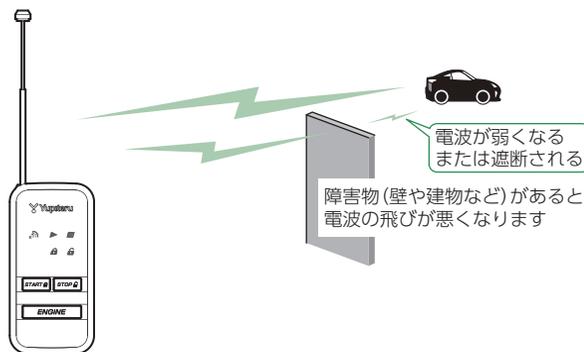
点滅の表示例

2. リモコンの上手な使い方

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

- 通信が正常にできない場合、エラー音『ピー』が鳴ります。このような場合は、以下のことをお試しください。改善される場合があります。

※ 車両とリモコンの間に障害物がなくなるような方向に車両を駐車してください。
障害物により電波が遮断されることがあります。



- リモコンのアンテナを手で覆わないでください。

※ 電波が飛びにくくなります。



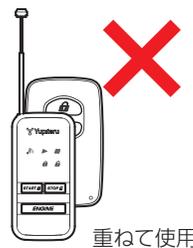
- リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。



アンテナが完全に伸びていない 傾けて使用

- エンジンを始動する場合は、以下のことに注意して操作してください。

- ・ 純正スマートキーをリモコンのストラップのリングに取り付けてください。
- ・ 市販のキーリング等を使用する場合は、リモコンと純正スマートキーの間隔が4cm以上離れないようにしてください。
- ・ リモコンと純正スマートキーは、リングで取り付けたまま一緒に携帯ください。
- ・ リモコンと純正スマートキーを重ねてエンジン始動しないでください。
- ・ 純正スマートキーの紛失・破損等については、当社は一切その責任を負いません。



⚠ 注意

- ! リモコンは、純正スマートキーと一緒に携帯し、操作時はリモコンとの間隔を4cm以上離さないでください。間隔が離れすぎるとスマートエントリー&スタートシステムの認証ができず、リモコン操作ができません。
- ! リモコンと純正スマートキーを重ねて操作しないでください。イモビ解除の通信が成立せず、エンジンを始動することができません。
- ! 純正スマートキーの電池が消耗して各操作（ドアロック/アンロックなど）ができなくなると、リモコン操作ができません。車両の取扱説明書を参照して、純正スマートキーの電池を交換してください。
- ! 車両に登録してある純正スマートキーの登録本数が5本以上ある場合は、本機では使用することができません。

3. 電池残量表示

エンジン始動、エンジン停止、エンジン状態確認、ドアロック、ドアアンロック操作時にリモコンの電池の残容量が一定以下になったことをお知らせします。

・第1キー操作時に電池残量判定を行い、電池残量が少ない場合は  (白) を早く点滅させ、第1キー操作音を鳴らしません。

※ 第2キー以降の操作は通常と同じです。

※ 電池残量が少なくなったお知らせが出た後でも、電池の状態によっては、再度操作した際にこのお知らせが出ない場合があります。

⚠ 注意

電池寿命が近づくと、第2キー以降の操作を行っても、ジャンクションユニットとの通信ができず、エラー表示が出て操作を完了できません。その場合は、すみやかに新しい電池と交換してください。

4. 電池交換

電池を交換するときは下記の手順で電池を装着してください。

電池交換中は車両周囲の安全を確認のうえ、不意なエンジン始動には十分にご注意ください。

⚠ 警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・火傷の原因となることがあります。
また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

・電池の交換時期について

 (白) が点滅し、音が鳴らなかつたら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

・電池寿命の目安

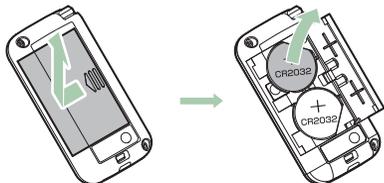
約1年を目安に新しい電池(CR2032 2個)と交換してください。(1日5回使用時)

※ 使用する条件によって異なります。

※ 付属品(リモコンに装着済み)の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。

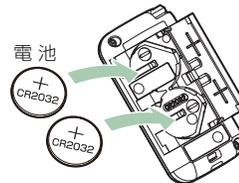
※ 指定の電池(CR2032)以外は使用しないでください。

4-1 電池カバーを開け、電池を取り出す



※ 電池を取り出しても、リモコンの設定内容は消去されません。

4-2 電池(CR2032)を図のように入れ、電池カバーを閉める



※ リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

5. リモコンが紛失 / 故障したとき

リモコンの紛失や故障などの場合は、新たなリモコンを登録することができます。

※ リモコンは取り寄せ品となるため、お時間を頂戴する場合があります。あらかじめご了承ください。

付属品のリモコンは、登録する必要はございません。そのままご使用いただけます。

※ リモコンの登録は登録1、登録2のどちらかの方法で行ってください。両方を行う必要はありません。

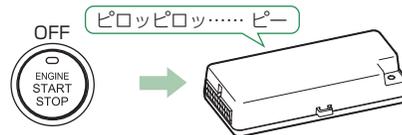
■ リモコンの登録方法 1

5-1 車両の純正スマートキーを車内に持ち込み、ブレーキペダルを踏まずに、7.5秒以内に OFF → ACC → ON → OFF を3回繰り返す



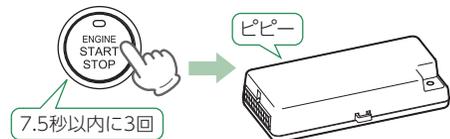
※ 7.5秒を超えると登録がキャンセルされます。

5-2 OFFの状態です「ピロップピロップ」音が10秒間鳴り、最後に「ピー」と鳴る



※ 「ピロップピロップ」音が鳴っているときにエンジンスイッチを操作すると登録がキャンセルされます。

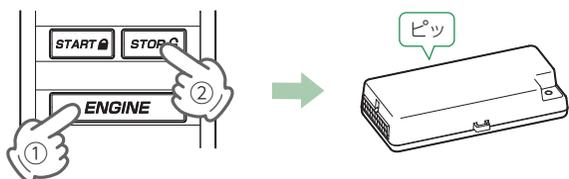
- 5-3 「ピー」と鳴ってから、ブレーキペダルを踏まずに、7.5 秒以内に OFF → ACC → ON → OFF を 3 回繰り返す



ジャンクションユニットから『ピー』と鳴ります。
※ 7.5 秒を超えると登録がキャンセルされます。

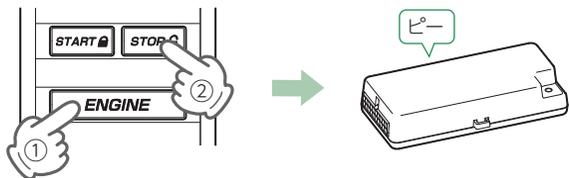
- 5-4 「ピー」と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作を行う

- エンジン停止操作
エンジンボタンを押し "  (白) " が点滅中にストップボタンを押す。



ジャンクションユニットから「ピッ」と鳴ります。リモコンからはエラー音「ピー」が鳴ります。
※ ジャンクションユニットから「ピッ」と鳴らないときは、再度 5-1 の操作からやり直してください。

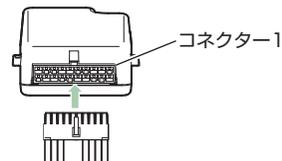
- 5-5 20 秒以内に、再度エンジン停止操作を行う



ジャンクションユニットから「ピー」と鳴り、登録完了となります。リモコンからはエラー音「ピー」が鳴ります。
※ ジャンクションユニットから「ピー」と鳴らないときは、再度 5-1 の操作からやり直してください。

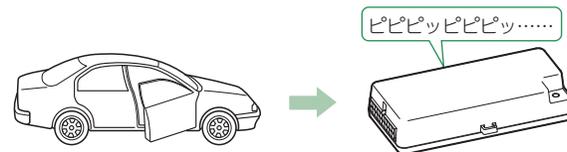
■ リモコンの登録方法 2

- 5-1 ジャンクションユニットからコネクター 1 を外し、再度接続する



『ピーピピピッ ピーピピピッ ピーピピピッ』と確認音が連続して鳴ります。

- 5-2 車両の純正スマートキーを車外に持ち運び、ドアを閉めたのを確認してからドアを開ける

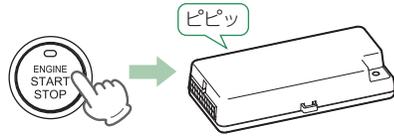


純正スマートキーを、車両から約 1 ~ 2m 程度離してください。
ジャンクションユニットの確認音が「ピピピッピピピッピピッピッ・・・」に変わります。

- 5-3 車両の純正スマートキーを車内に持ち込み、シフトレバーまたは P ポジションスイッチがパーキング (P) ポジションになっていることを確認する



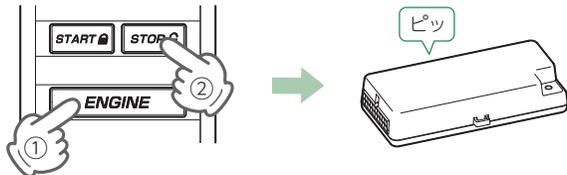
5-4 ブレーキペダルから足を離したままエンジンキー(エンジンスイッチ)を OFF → ACC → ON と切り替える



ジャンクションユニットから「ピピッ」と鳴ります。

5-5 「ピッ」と鳴ってから 20 秒以内に、登録を行うリモコンからエンジン停止操作を行う

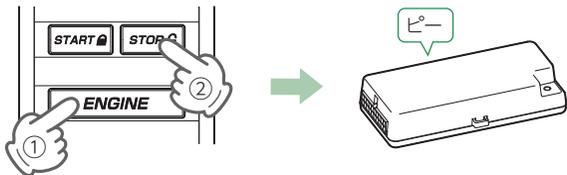
- エンジン停止操作
エンジンボタンを押し「 (白) 」が点滅中にストップボタンを押す。



ジャンクションユニットから「ピッ」と鳴ります。リモコンからはエラー音「ピー」が鳴ります。

※ ジャンクションユニットから「ピッ」と鳴らないときは、再度 5-1 の操作からやり直してください。

5-6 10 秒以内に、再度エンジン停止操作を行う



ジャンクションユニットから「ピー」と鳴り、登録完了となります。リモコンからはエラー音「ピー」が鳴ります。

5-7 もう一度エンジンスイッチを押し OFF にする

リモコン登録後、続けて「ブレーキ検出」(P.32)を行ってください。

エンジン始動～停止までの手順

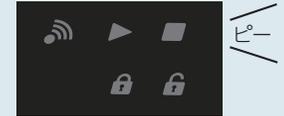
下記の手順に沿って操作を行います。



■ エラーについて

本機リモコン操作（エンジンの始動、停止、状態確認、アイドリング時間の延長、ドアのロック/アンロック）をしたときに、ジャンクションユニットからの信号を受信できないと、リモコンからエラー音「ピー」が鳴ります。

このような場合は、場所を変えてもう一度リモコン操作を行ってください。



<エラー表示>

1. エンジンの始動

注意

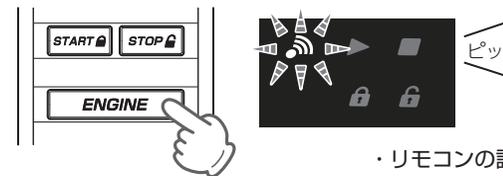
降雪時や寒冷地で車両を駐車するときは…

- ! 車両を駐車するときはワイパーなどの電源をOFFにしてください。本機でエンジン始動の際、ワイパーの凍結などにより過大な負荷がかかり車種別専用ハーネスのヒューズが切れる恐れがあります。

本機のリモコンでエンジンを始動する方法は、以下のとおりです。

1-1 操作確認音「ピッ」が鳴るまでエンジンボタンを押す

 (白) が点滅します。

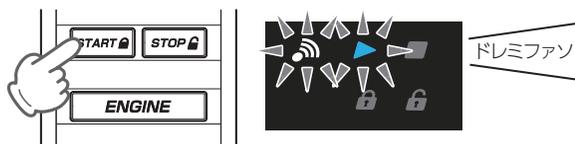


- ・リモコンの詳細は…
◀ P.34 「リモコンについて」

※ リモコン操作中は、必ず純正スマートキーとリモコンの間隔を 4cm 以内にして、操作してください。

1-2 (白)が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでスタートボタンを押す

(青)と (白)が点灯し、信号を送信します。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』と鳴ります。

※ 電波状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファン』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。

エンジンの始動を行います。

・車両のバッテリーの性能が低下していると…

エンジンスイッチで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

エンジン始動動作中に信号を受信すると

エンジン始動動作中に、純正スマートキーの信号を受信すると (白)が2回点滅します。(白)が点滅しない場合は、エンジン始動できません。



※ 車両にキーレスの通信が届く位置でエンジン始動を行うと上記の (白)が点滅せずにエンジン始動できない可能性があります。その時は、車両からキーレスの通信が届かない位置で再度エンジン始動を行ってください。

※ (白)が2回点滅してもエンジン始動できない場合、リモコンと車両の通信状態が限界付近の可能性があります。車両に近づくか、車両の間に障害物が無い位置から再度エンジン始動してください。

エンジンが始動すると

ジャンクションユニットがエンジン始動を検出して、始動確認の信号をリモコンに送ります。

※ 別売品のハザード制御 : A-18SF ( P.11) を接続していると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンの始動をお知らせします。

※ エンジンが始動できないと、リトライ機能が働きます。( P.43)

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファンソファミレド』と鳴り、 (青)が点灯します。

※ アイドリング時間の設定については、
  P.51 「アイドリング時間の設定」を参照ください。



・アイドリング中は…

「ピッピッピッ」とジャンクションユニットから連続して音が鳴り、本機動作によりアイドリングしていることをお知らせします。

リトライ機能について

エンジンが始動できなかったときに、再始動(リトライ)を1回行います。

 P.51 「リトライ設定」

※ ACC が ON になってエンジン始動確認ができない場合は、リトライは行いません。

※ エンジンが始動しているにもかかわらず、エンジン始動確認ができない場合は、始動判定方法選択を『特殊判定』に変更してください。( P.51)

※ 始動判定方法選択を『特殊判定』に変更してもエンジン始動確認ができない場合は、オルタネータ線の接続が必要です。( P.22)

※ 安全機能によりエンジン始動を停止した場合は、再始動(リトライ)は行いません。

・安全機能とは…

ブレーキが踏まれた状態では、本機によるエンジンの始動や動作はしません。また、リモコンによるエンジン始動後、ブレーキペダルを踏むとエンジンが停止します。( P.12「ブレーキ検出」)

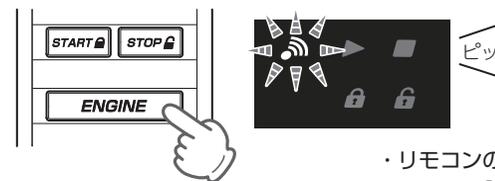
2. エンジンの状態を確認する

エンジンの始動/停止状態の確認ができます。

※ エンジンスイッチでエンジンを始動した場合は確認できません。

2-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで、エンジンボタンを押す

(白)が点滅します。



・リモコンの詳細は…

 P.34 「リモコンについて」

2-2 (白)が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで、もう一度エンジンボタンを押す

 (白)が点灯します。



ジャンクションユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

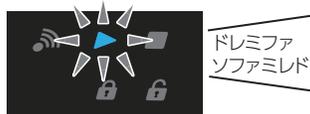
※ 別売品のハザード制御：A-18SF(☛ P.11)を接続していると、エンジンが始動している場合、ハザードランプが 3 回点滅します。

・エンジンが始動できなかった場合は…
エンジンボタンを 2 度押すことで始動エラー音を確認することができます。
(☛ P.53 「始動エラー音について」)

ジャンクションユニットからの信号を受信すると

■ エンジンが始動中の場合

受信音『ドレミファソファミレド』と鳴り、 (青)が点灯します。



■ エンジンが停止中の場合

受信音『ソミレドレ』と鳴り、 (赤)が点灯します。



警告

車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。また、むやみに操作ボタンを押さないでください。

3. アイドリング時間を延長する

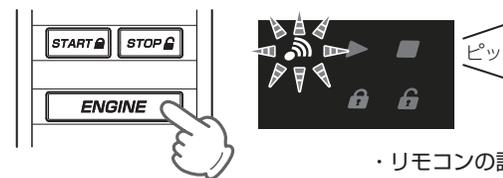
本機によるアイドリング中に、アイドリング設定時間に対して一度だけ 10 分間のアイドリング延長ができます。

次のような場合は、アイドリング時間を延長することができません。

- ・アイドリング時間設定を 30 分にしている場合
- ・アイドリング時間延長操作をすでに 1 度行っている場合

3-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで、エンジンボタンを押す

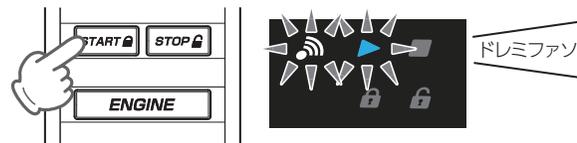
 (白)が点滅します。



・リモコンの詳細は…
☛ P.34 「リモコンについて」

3-2 (白)が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでスタートボタンを押す

 (青)が点灯し、信号を送信します。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ドレミファソファミレド…ピピ』と鳴り、 (青)の点灯でアイドリング時間の延長をお知らせします。

※ アイドリング時間の設定については、☛ P.51 「アイドリング時間の設定」を参照ください。



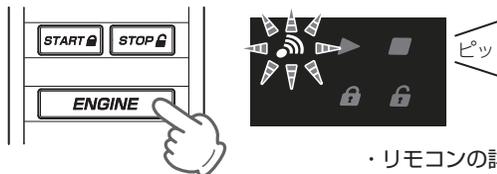
4. エンジンの停止

本機でエンジンを始動させた場合、もしくは本機によるアフターアイドル中、本機のリモコンでエンジンを停止させることができます。

※ エンジンスイッチでエンジンを始動した場合、リモコンでエンジンを停止することはできません。

4-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで、エンジンボタンを押す

 (白) が点滅します。



・リモコンの詳細は…
▶ P.34 「リモコンについて」

4-2 (白) が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまでストップボタンを押す

 (赤) と  (白) が点灯し、信号を送信します。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソミレドレ』と鳴り、 (赤) の点滅し、エンジンが停止したことをお知らせします。



5. 車両に乗る

安全のため、いったんエンジンを停止させたあと、必ず車両本来の操作（エンジンスイッチ操作など）でエンジンを始動してください。

5-1 リモコン操作でエンジンを停止する

・エンジン停止操作は…
▶ P.46 「4. エンジンの停止」

5-2 車両本来の操作(エンジンスイッチ操作など)で、エンジンを始動する



走行できます。

6. ドアのロック / アンロック操作

本機のリモコンでドアのロックやアンロックができます。

※ 車両の純正スマートキーでアイドルを行っているときは、本機リモコンでドアのロックやアンロックはできません。

別売品のキーレスエントリー：A-175F (▶ P.11) 等の接続が必要です。

※ 車両によっては、別売品のドアロックアダプターやドアロックハーネス等が必要な場合があります。

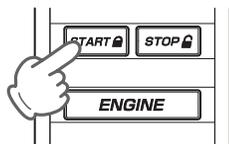
⚠ 注意

- ! 車両のバッテリー上がり、本機のリモコン電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車両の純正スマートキーは必ず携帯してください。
- 半ドア状態でドアロック操作をした場合は、ドアを完全にロックできない場合があります。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤動作を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能※を搭載しておりませんので、リモコンでドアアンロック後、乗車しない場合は、ドアのロック状態を確認してください。
※ ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック (リロック) する機能

■ ドアロック

6-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで、ロックボタンを押す

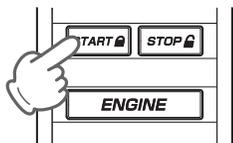
 が点滅します。



・リモコンの詳細は…
▶ P.34 「リモコンについて」

6-2 (橙) が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまで、もう一度ロックボタンを押す

 (橙) と  (白) が点灯し、信号を送信します。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』と鳴り、 (橙) の点灯で、ドアロック (施錠) をお知らせします。

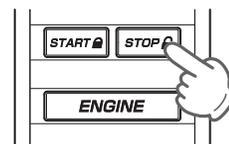
※ 別売品のハザード制御：A-18SF(▶ P.11) を接続していると、ハザードランプが 1 回点滅して、ドアロックをお知らせします。



■ アンロック

6-1 操作確認音『ピッ』が鳴るまで アンロックボタンを押す

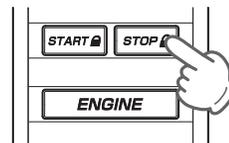
 が点滅します。



・リモコンの詳細は…
▶ P.34 「リモコンについて」

6-2 (橙) が点滅中(約 3 秒間)に、『ドレミファン』が鳴るまで、もう一度アンロックボタンを押す

 (橙) と  (白) が点灯し、信号を送信します。



ジャンクションユニットからの信号を受信すると

受信音『ソファミレド』と鳴り、 (橙) の点灯で、ドアのアンロック (解錠) をお知らせします。

※ 別売品のハザード制御：A-18SF(▶ P.11) を接続していると、ハザードランプが 2 回点滅して、ドアのアンロックをお知らせします。



エンジンスターターの設定

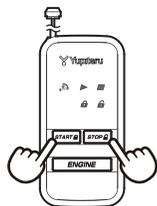
本機は車両や季節、気候にあわせて、最適にご使用いただくために、各種設定を設けてあります。

1. 設定項目一覧

ご注意

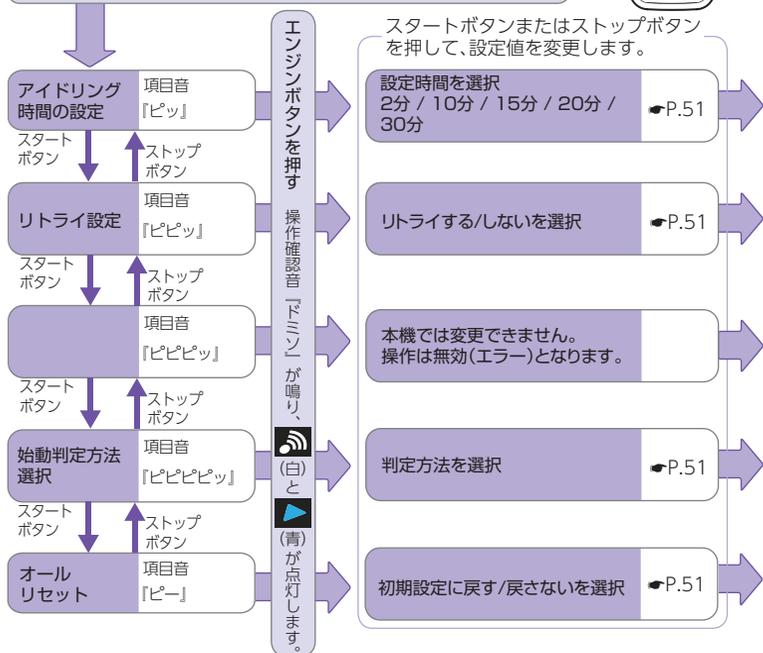
設定モード中は 20 秒以上ボタン操作がないと、リモコンからブザー音「ピーピーピー」が鳴り、変更した内容を記憶せず、設定モードを終了します。

スタートボタンとストップボタンの両方を同時に約 5 秒間押し続ける
▶ (青)が点灯します。



エンジンボタンを押す

操作確認音「ドレ」が鳴り、設定音「ドレ」が鳴り、設定完了音「ドレ」が鳴ります。
(白)と(青)が点灯します。



2. 各設定項目の説明

設定時の操作方法は、▶ P.50 を参照ください。

アイドリング時間の設定

本機で始動した場合のアイドリング時間を 2/10/15/20/30 分の 5 段階から選択できます。



リトライ設定

1 回でエンジン始動できなかったときに、再始動(リトライ)を自動的に行います。



始動判定方法選択

本機でエンジン始動後、エンジン始動判定方法を選択できます。エンジンが正常に始動したにもかかわらず、約 1 分程度で停止してしまう場合に、設定を「特殊判定」に変更してご使用ください。

※ 特殊判定を選択した場合、エンジン始動に失敗しても、アイドリング設定時間の間、車両の電源が ON になることがあります。



オールリセット

エンジンスターターの設定 (▶ P.51) をすべて初期値に戻します。



故障かな？と思ったら

操作ボタンを押してもリモコンのLEDが表示されない

- 電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。
- 電池が正しく入っていますか。
正しく電池をセットしてください。



リモコン操作でエンジンが始動または停止できない

- スリープ機能が働いていませんか。
一度、純正スマートキーでエンジンをかけてください。
- シフトレバーまたは、Pポジションスイッチがパーキング(P)ポジションになっていますか。
- 車種別専用ハーネスのヒューズが切れていませんか。
- エンジンスターターが正しく設定されていますか。(●P.50)
- 車両と離れすぎていませんか。
電波の届く範囲内で操作を行ってください。
- 車両のバッテリーが弱っていませんか。
バッテリーを充電するか、新品と交換してください。車両のバッテリーを交換した場合には、ブレーキ検出が必要です。(●P.32)
- キー操作でエンジンが始動しますか。
始動しない場合は車両の点検をしてください。
- 純正スマートキーでエンジンを始動していませんか。
純正スマートキーでエンジンを停止してからリモコン操作でエンジン始動を行ってください。
- リモコンと純正スマートキーが重なっていませんか。
リモコンと純正スマートキーを重ねずに操作してください。(●P.35)
- ジャンクションユニットからエラー音が鳴っていませんか。(●P.53)
- 純正スマートキーが5本以上ありませんか。
車両に登録してある純正スマートキーの登録本数が5本以上ある場合は、本機では使用することができません。
- リモコンと純正スマートキーが4cm以上離れていませんか。
リモコンと純正スマートキーは4cm以内でご使用ください。(●P.35)
- ジャンクションユニットのディップスイッチがONになっていませんか。(●P.10)

リモコン操作でエンジンが始動できない、または始動しても停止する

- 始動判定方法選択を特殊判定に変更して操作してください。(●P.51)
- ジャンクションユニットのディップスイッチがONになっていませんか。(●P.10)

リモコン操作がエラーになる

- 車両のバッテリー交換しましたか。
車両のバッテリー交換後はブレーキ検出が必要です。
- 車内で『ピーピピピッ ピーピピピッ・・・』音が鳴っていませんか。
ブレーキ検出を行ってください。(●P.32)
- 電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。
- ジャンクションユニットのディップスイッチがONになっていませんか。(●P.10)

リモコン操作できる距離が短い

- リモコンのアンテナ部を手で覆っていませんか。
アンテナ部に手を触れないで操作してください。
- リモコンの電池が消耗していませんか。
新しい電池と交換してください。
- 車両とリモコンの間に障害物がありますか。
障害物のない場所から操作してください。

ブレーキ検出ができない / リモコン登録ができない

- ジャンクションユニットのディップスイッチがONになっていませんか。(●P.10)

始動エラー音について

本機によるエンジンスタートが動作しない場合は、エンジン始動失敗後にジャンクションユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合状況を確認できます。

本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

※ エンジン始動失敗後、次にエンジン始動操作を行うまでの間は、リモコンのエンジンボタンの2度押し(エンジンの状態確認操作)を行うことで、ジャンクションユニットから、もう一度エラー音を鳴らすことができ、不具合状況を確認できます。

エラー音	不具合の検出
ピーピピピッ ピーピピピッ...	車両の通信を認識できていません。
ピー ピッ ピッ	エンジンスターター動作中断時 ブレーキ検出
ピー ピッ ピッ ピッ ピッ	エンジンスターター動作中断時 ドア検出
ピー ピー	エンジンスターター動作中断時 電圧異常
ピー ピー ピッ	エンジンスターター動作中断時 オルタネータ異常
ピー ピーピッ ピッ ピッ	エンスト検出
ピー ピー ピー	エンジン始動異常

仕様

実用通信距離：最大 350m[市街地](見通し)

電波到達距離：最大 1,000m[妨害の少ない河川道路](見通し)

※ 実用通信距離は一般的な電波環境での目安であり、通信距離をお約束するものではありません。

電波の届かない地下や屋内では表記通信距離より短くなる場合があります。

※ ファンモーターなどのノイズの大きな車ではエンジンを始動させる時に比べ、停止させる時のほうが短くなる場合があります。

※ 上記測定条件は、アンテナユニットをフロントガラスと天井のすき間に取り付けた場合になります。

■ リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	920MHz 帯
送信出力	20mW 以下
適合技術基準	微弱無線設備電波法
送信周波数	100KHz 帯
送信出力	500 μ V/m 以下
使用電池	リチウム電池 CR2032 \times 2
動作温度範囲	-10 $^{\circ}$ C \sim +50 $^{\circ}$ C
寸法	32(W) \times 65(H) \times 14(D)mm (突起部含まず)
重量	約 27g(電池含む)

■ ジャンクションユニット

適合技術基準	特定小電力無線局 テレコントロール用無線設備
送受信周波数	920MHz 帯
送信出力	20mW 以下
適合技術基準	微弱無線設備電波法
送信周波数	310MHz 帯
送信出力	500 μ V/m 以下 (内蔵アンテナ)
電源電圧	12V 車専用(DC9 \sim 16V)
消費電流	スリープ時：約 7mA 以下 待機時：約 11mA 以下(平均)
動作温度範囲	-30 $^{\circ}$ C \sim +85 $^{\circ}$ C
寸法	127(W) \times 26(H) \times 59(D)mm (突起部含まず)
重量	約 96g

■ アンテナユニット

送受信周波数	920MHz 帯
動作温度範囲	-30 $^{\circ}$ C \sim +85 $^{\circ}$ C
寸法	45(W) \times 12(H) \times 28(D)mm (突起部含まず)
重量	約 60g(ケーブル含む)

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM や $\text{\textcircled{R}}$ などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。

<http://www.yupiteru.co.jp/>

アフターサービスについて

■ リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、新しいリモコンを登録(有償)することができます。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

※ リモコンは取り寄せ品となるため、ご来店当日の登録ができない場合があります。あらかじめご了承ください。

本書に従った、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書に従って修理いたします。

また、本機取り付けによる車両や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ年月日」をご確認のうえ、保証内容をよくお読みになって、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日から3年間です。(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)

● 対象部分

機器本体(消耗部品は除く)

● 修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」(P.52)で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。

ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○ 保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○ 保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※ 修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

● 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

● 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

● 紛失等による付属品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00 \sim 17:00 月曜日 \sim 金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター  0120-998-036

お客様ご自身での取り付け作業に対するサポートは行っておりません。